

平成30年度研究開発評価人材育成研修（初級）実施要項（案）

1. 趣旨・目的

研究開発評価に当たっては、評価に関する制度の理解や知識が必要であるが、大学や研究開発機関等では、評価を担当する事務職員がジョブローテーションで数年ごとに異動し、評価の経験・知識が蓄積されにくいなど、人材の集積や人材育成が進んでいない。このような背景の下、文部科学省では、研究開発評価の効率化及び質の向上に資するとともに、各機関における研究の推進や評価に関わる事務職員の質の向上を図る観点から、研究開発評価に関する基礎的な知識等の習得による、研究開発評価人材の育成を目的として、研究開発評価人材育成研修（初級）を実施する。

2. 対象者及び日程等

対象：大学、大学共同利用機関法人及び独立行政法人の研究開発評価に係る部署に所属し、研究開発評価の業務に1年から3年程度従事している事務職員（※）。

なお、平成29年度までの受講者は対象から除く。

（※）研究開発評価の業務とは、各機関における組織的な研究戦略の策定、戦略に基づいて実施される研究活動及び研究評価活動等に関連する業務を広く意味する。

（※）本研修は、研究開発評価の業務に関する、基礎的・体系的な知識等の習得や、実際の事例に係る情報共有をねらいとしたものであり、特定の評価手法等について専門的な研修を行うものではない。

（※）原則、係員～課長補佐クラスを対象としている。

定員：48人程度

日程：平成30年11月下旬～12月上旬頃

場所：文部科学省15F特別会議室（P）

研修内容等の検討

昨年度の研修の結果やアンケートや委託事業からの提案等を踏まえて検討を行う。

- 1 初級研修の講義について（内容、順番、講師等）
 - ・ 講義の単位を分けてはどうか。
 - ・ 委託事業のテキストを講義でどのように使用するか。

- 2 ワークショップについて（実施方法、テーマ等）
 - ・ 昨年度の委託事業からの提案を踏まえたワークショップの構成について、昨年度までのロジック・モデルを踏襲するか、委託事業からの提案を試行するか等。
 - ・ ロジック・モデルを実施する場合は、ワークショップの時間を1時間延ばして、班別発表と講評に時間を割いてはどうか。

平成30年度研究開発評価人材育成研修（初級）【日程表】（案）

時間	1日目（○月○日）	時間	2日目（○月○日）
会場	文部科学省	会場	文部科学省
13:00 ～ 13:05 (5分)	開会の挨拶 文部科学省科学技術・学術戦略官	10:00 ～ 14:00 (180分)	【ワークショップ】 ※途中、 休憩(50 分)を含 む
13:05 ～ 14:05 (60分)	講義1 講師：伊地知先生（P）	※途中、 休憩(50 分)を含 む	
休憩（5分）			
14:10 ～ 15:10 (60分)	講義2 講師：安藤先生（P）		
休憩（15分）		休憩（10分）	
15:25 ～ 15:45 (20分)	アイスブレイク 講師：小湊先生・鳶田先生 （P）	14:00 ～ 15:40 (100分)	【発表・講評】
15:45 ～ 16:55 (70分)	講義3 講師：小湊先生・鳶田先生 （P）	15:40 ～ 15:50 (10分)	【全体講評】
休憩（5分）		15:50 ～ 16:00 (10分)	【修了証授与】
17:00 ～ 18:00 (60分)	講義4 講師：栗本先生（P）		
移動（5分）		16:00	解散
18:05 ～ 19:20 (65分)	情報交換会（講師出席）		